



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月11日

上場会社名 株式会社プラザクリエイト本社
 コード番号 7502 URL <http://www.plazacreate.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大島 康広
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営本部長 (氏名) 黒部 一仁
 定時株主総会開催予定日 2021年6月29日 配当支払開始予定日 2021年6月30日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月30日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有 金融機関向け

上場取引所 東

TEL 03-3532-8812

2021年6月30日

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	20,674	△10.3	305	13.6	390	37.4	732	482.8
2020年3月期	23,054	△2.9	268	13.3	284	24.0	125	61.2

(注) 包括利益 2021年3月期 734百万円 (436.2%) 2020年3月期 137百万円 (78.1%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	57.90	—	28.7	3.2	1.5
2020年3月期	9.81	—	5.5	2.2	1.2

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 一百万円 2020年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	12,239	2,805	22.9	227.37
2020年3月期	12,542	2,305	18.4	181.72

(参考) 自己資本 2021年3月期 2,805百万円 2020年3月期 2,305百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	△68	560	△436	1,698
2020年3月期	1,232	△458	△284	1,642

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00	88	71.3	3.9
2021年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00	148	20.7	5.9
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	20,000	△3.3	700	129.1	700	79.1	500	△31.8	—

※第2四半期連結累計期間については業績予想の開示を行っておりません。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2021年3月期	13,836,258 株	2020年3月期	13,836,258 株
2021年3月期	1,496,701 株	2020年3月期	1,146,701 株
2021年3月期	12,659,831 株	2020年3月期	12,813,874 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	5
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
(6) 企業集団の状況	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	13
(表示方法の変更)	15
(セグメント情報等)	16
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19
4. 個別財務諸表及び主な注記	20
(1) 貸借対照表	20
(2) 損益計算書	22
(3) 株主資本等変動計算書	23

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループは引き続き、モバイル事業のさらなる成長と、パレットプラザをはじめとしたプリント事業の構造変革および新たな収益の柱となる事業の創造に積極的に取り組んで参りました。

モバイル事業におきましては、政府による通信料値下げ要請に伴うオンライン販売を通じた格安プランの台頭など大きな事業環境変化の中、店舗数拡大に加え、質の高いサービスの提供と販売力の向上を目的とした教育研修などの取り組みが功を奏し、最大の商機である春商戦において順調に販売台数が積みあがりました。法人顧客の開拓におきましても、昨今の社会情勢を受け引き続き高まる企業ニーズに対応し、顧客数と高粗利商材の獲得が大きく伸びました。一方で、収益力の低い店舗の閉店が売上高に影響し、減収増益となりました。

プリント事業におきましては、パレットプラザ事業における直営店運営事業から卸売り事業への業態転換を加速させ、当連結会計年度末にはフランチャイズ店舗214店、直営店舗は68店となり、店舗数に占めるフランチャイズ店舗の割合は76%（前年同時期59%）となり、収支構造の改善を一層推し進めることができました。

ハンドメイドをだれでも楽しめるDIYクラフトキット『つくるんです®』は、大手書店チェーンとの限定コラボレーションモデルとして販売開始した、昆虫図鑑付きの3Dウッドパズルモデル『ポケットバグズ®』などのラインナップ拡充や、当ブランドの公式サイトにおける継続的な情報発信、お客様と共にパズルを作る過程を楽しめる双方向型の企画などの施策により、DIYクラフトキットといえば『つくるんです®』という知名度とブランド認知向上に努めました。長引くコロナ渦による“おうち時間”の増加も後押しし、シリーズ累計出荷数が88万個（前年同時期37万個）を達成いたしました。

また、ビジネスにおいてオンラインでの会議やコミュニケーションが常態化しつつあるニューノーマル時代に適した、“オンライン会議のための個室空間”として、当社がこれまで証明写真ボックスの製品開発で積み上げてきた知見を活かし、Zoom 日本法人である ZVC Japan 株式会社様と共同で企画したパーソナル・ミーティング・ボックス「One-Bo（ワンボ）」は、2021年1月のリリース以降、販売実績が好調に推移し、時代の変化に対応しながら新たな収益の柱となる事業の創出にも取り組みました。引き続き販売体制と製品増産体制の構築を強化してまいります。

その他、経営環境が大きく変化する中で証明写真ボックス事業の売却など経営リソースの選択と集中を一層推し進め、名実ともに“小売業”から“企画会社”への業態転換を一新させてまいりました。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は、206億74百万円（前期比10.32%減）、営業利益は3億5百万円（前期比13.62%増）、経常利益3億90百万円（前期比37.39%増）、親会社株主に帰属する当期純利益7億32百万円（前期比482.83%増）となりました。

当連結会計年度のセグメント別における概況と業績は次のとおりであります。

①モバイル事業

当連結会計年度のモバイル事業においては、収益力の低い店舗の閉店により売上高は減少したものの、既存店の販売台数積み増し及び法人向け高粗利商材の販売が好調に推移したことなどにより、売上高155億83百万円（前年同期比4.13%減）、セグメント利益は10億18百万円（前年同期比51.75%増）となりました。

②プリント事業

当連結会計年度のプリント事業においては、フランチャイズ事業への業態転換を推し進める中で売上構造の変化、コロナ渦による売上減少に加え、新規事業への先行投資を行ったことにより、売上高50億91百万円（前年同期比25.13%減）、セグメント損益は6億82百万円の損失（前年同期比77.00%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の総資産の額は122億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億2百万円の減少となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が3億24百万円、商品及び製品が6億12百万円増加し、有形固定資産が9億44百万円減少したことなどによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末の負債の額は94億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億2百万円の減少となりました。主な要因は、長期借入金が7億87百万円増加し、短期借入金が6億41百万円、長期リース債務が4億84百万円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産の額は28億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億99百万円の増加となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益7億32百万円及び支払配当金88百万円、自己株式の取得1億46百万円などによるものであります。なお、当連結会計年度末における自己資本比率は、前連結会計年度末の18.4%から22.9%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物は、前当連結会計年度末に比べ56百万円増加し、16億98百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前期に比べ収入が13億円減少し、68百万円の支出(前期比105.5%減)となりました。主な要因は、売上債権の増減額が5億91百万円、たな卸資産の増減額が8億53百万円減少したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前期に比べ収入が10億19百万円増加し、5億60百万円の収入(前期4億58百万円の支出)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出の減少95百万円、事業譲渡による収入の増加8億75百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前期に比べ支出が1億51百万円増加し、4億36百万円の支出(前期2億84百万円の支出)となりました。主な要因は、短期借入金の純増減額の減少5億30百万円、長期借入金の返済による支出の減少1億87百万円、リース債務の返済による支出の減少1億48百万円などによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期
	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率 (%)	16.7	17.2	17.2	18.4	22.9
時価ベースの自己資本比率 (%)	36.6	34.8	31.6	34.2	43.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	7.9	10.5	10.5	5.7	△95.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	15.9	11.7	9.5	16.8	△0.9

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式除く）により算出しております。

※キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを使用しております。

※有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

国内外における新型コロナウイルス感染症のワクチンへの期待感が広まっておりますが、感染症拡大の脅威は依然として続いており、また、その収束時期の見通しが立たない中、2021年4月以降も大都市圏を中心とする一部地域においては、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置に伴う店舗の休業や営業時間の短縮を行っております。このため、都市部を中心とした当該対象地域においては、不要不急の外出自粛による来店客数の減少、お客様の価値観やライフスタイルの大きな変化により今後も不透明な経営環境が続くと見込まれます。

2022年3月期の業績見通しにつきまして、新型コロナウイルス感染症拡大の収束を合理的に見通すことはできませんが、現時点で入手可能な情報や予測に基づき公表いたします。当該業績の見通しは、当期の実績に鑑み、先行きの不透明感などから売上高をやや手堅く見込んでおります。このような状況を踏まえ、売上高200億円（前年同期比3.3%減）、営業利益7億円（前年同期比129.1%増）、経常利益7億円（前年同期比79.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益5億円（前年同期比31.8%減）を見込んでおります。

なお、同感染症拡大が今後経済・社会に与える影響の程度や収束の時期などの要因により変動する可能性があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、安定的な経営基盤の確保と内部留保の充実による財務体質の強化に努めるとともに、安定的な配当を継続実施していくことを基本方針としております。

当期の期末配当につきましては、1株当たり12円を予定しております。次期の配当につきましては、1株当たり10円を予定しております。

(6) 企業集団の状況

当社グループは、当社及び子会社2社により構成されており、グループ会社ごとに製品・サービス別の事業活動を展開しております。事業内容は、プリントショップの経営とフランチャイズの展開並びにWebサイトを運営し、デジタルプリントサービス及び写真関連商材等の販売を営むプリント事業と携帯端末等の販売を営むモバイル事業としております。

当社グループの主要会社ごとの主要製品・サービスの事業活動は次のとおりであります。

報告セグメントの名称	主な取扱商品・サービス	主要な会社
プリント事業	デジタルプリントサービス 写真関連商材 写真撮影サービス	(株)プラザクリエイト (株)プラザクリエイトスタッフサービス
モバイル事業	携帯端末	(株)プラザクリエイト

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、海外での事業展開がなく、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては、日本基準を適用しております。

なお、IFRSの適用につきましては、同業他社の採用の動向を踏まえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,642,456	1,698,542
受取手形及び売掛金	1,912,038	2,236,782
商品及び製品	1,537,509	2,149,531
原材料及び貯蔵品	170,236	89,250
未収入金	419,306	654,783
その他	371,317	368,847
流動資産合計	6,052,864	7,197,737
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,579,966	2,439,948
減価償却累計額	△1,038,593	△1,067,829
建物及び構築物(純額)	1,541,373	1,372,118
機械装置及び運搬具	2,023,297	733,836
減価償却累計額	△1,894,057	△713,175
機械装置及び運搬具(純額)	129,240	20,660
土地	1,511,248	1,511,248
リース資産	2,016,245	1,195,327
減価償却累計額	△1,325,207	△1,121,649
リース資産(純額)	691,038	73,677
建設仮勘定	67,682	24,804
その他	961,176	891,625
減価償却累計額	△741,509	△678,744
その他(純額)	219,667	212,881
有形固定資産合計	4,160,251	3,215,390
無形固定資産		
のれん	66,959	38,649
リース資産	153,092	81
その他	214,675	136,899
無形固定資産合計	434,727	175,630
投資その他の資産		
投資有価証券	85,239	95,389
長期貸付金	53,604	6,172
敷金及び保証金	1,654,290	1,458,239
繰延税金資産	25,879	26,030
その他	88,046	77,611
貸倒引当金	△12,289	△12,289
投資その他の資産合計	1,894,771	1,651,153
固定資産合計	6,489,750	5,042,174
資産合計	12,542,614	12,239,912

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,417,369	1,427,792
未払金	625,916	459,092
短期借入金	3,373,645	2,732,369
リース債務	373,208	173,587
未払法人税等	11,593	9,800
賞与引当金	124,209	128,825
役員賞与引当金		7,000
その他	431,116	388,784
流動負債合計	6,357,058	5,327,252
固定負債		
長期借入金	2,673,117	3,460,747
リース債務	640,252	155,976
繰延税金負債	44,674	39,565
退職給付に係る負債	77,852	57,200
資産除去債務	214,047	193,020
長期預り保証金	229,665	200,560
固定負債合計	3,879,609	4,107,070
負債合計	10,236,668	9,434,323
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,228,496	1,228,496
利益剰余金	1,326,253	1,970,414
自己株式	△361,379	△507,679
株主資本合計	2,293,370	2,791,231
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,575	14,357
その他の包括利益累計額合計	12,575	14,357
純資産合計	2,305,946	2,805,589
負債純資産合計	12,542,614	12,239,912

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	23,054,815	20,674,849
売上原価	14,839,503	13,173,294
売上総利益	8,215,311	7,501,554
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	1,064,693	757,952
給料手当及び賞与	2,221,419	2,436,539
賞与引当金繰入額	123,599	133,514
雑給	812,745	544,681
賃借料	1,143,952	1,100,847
のれん償却額	48,965	31,040
支払手数料	1,030,470	999,901
その他	1,500,563	1,191,564
販売費及び一般管理費合計	7,946,409	7,196,042
営業利益	268,901	305,512
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,788	2,326
協賛金収入	41,487	103,090
助成金収入	—	39,000
償却債権取立益	11,135	13,750
その他	81,124	33,863
営業外収益合計	136,535	192,031
営業外費用		
支払利息	73,478	70,312
シンジケートローン手数料	31,005	9,281
その他	16,485	27,112
営業外費用合計	120,969	106,706
経常利益	284,468	390,837
特別利益		
固定資産売却益	3,487	28,215
事業分離における移転利益	—	847,190
受取補償金	34,000	—
保険差益	18,647	—
特別利益合計	56,135	875,406
特別損失		
減損損失	155,627	517,719
店舗閉鎖損失	32,102	11,939
特別損失合計	187,730	529,659
税金等調整前当期純利益	152,873	736,584
法人税、住民税及び事業税	11,593	9,800
法人税等調整額	15,515	△6,203
法人税等合計	27,109	3,597
当期純利益	125,764	732,987
親会社株主に帰属する当期純利益	125,764	732,987

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	125,764	732,987
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,275	1,782
その他の包括利益合計	11,275	1,782
包括利益	137,040	734,770
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	137,040	734,770
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	1,228,496	1,290,226	△322,509	2,296,213
当期変動額					
剰余金の配当			△89,736		△89,736
親会社株主に帰属する当期純利益			125,764		125,764
自己株式の取得				△38,870	△38,870
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	36,027	△38,870	△2,842
当期末残高	100,000	1,228,496	1,326,253	△361,379	2,293,370

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,299	1,299	—	2,297,512
当期変動額				
剰余金の配当				△89,736
親会社株主に帰属する当期純利益				125,764
自己株式の取得				△38,870
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	11,275	11,275		11,275
当期変動額合計	11,275	11,275	—	8,433
当期末残高	12,575	12,575	—	2,305,946

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	1,228,496	1,326,253	△361,379	2,293,370
当期変動額					
剰余金の配当			△88,826		△88,826
親会社株主に帰属する当期純利益			732,987		732,987
自己株式の取得				△146,300	△146,300
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	644,160	△146,300	497,860
当期末残高	100,000	1,228,496	1,970,414	△507,679	2,791,231

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	12,575	12,575	—	2,305,946
当期変動額				
剰余金の配当				△88,826
親会社株主に帰属する当期純利益				732,987
自己株式の取得				△146,300
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,782	1,782		1,782
当期変動額合計	1,782	1,782	—	499,643
当期末残高	14,357	14,357	—	2,805,589

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	152,873	736,584
減価償却費	740,551	570,564
減損損失	155,627	517,719
のれん償却額	48,965	31,040
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△18,682	△20,652
受取利息及び受取配当金	△2,788	△2,326
支払利息	73,478	70,312
固定資産売却損益 (△は益)	△3,487	△23,771
事業譲渡損益 (△は益)	—	△847,190
受取補償金	△34,000	—
保険差益	△18,647	—
売上債権の増減額 (△は増加)	266,992	△324,744
たな卸資産の増減額 (△は増加)	246,285	△606,892
未収入金の増減額 (△は増加)	232,753	1,266
仕入債務の増減額 (△は減少)	△440,927	10,423
その他	△134,255	△139,012
小計	1,264,739	△26,678
利息及び配当金の受取額	2,779	2,326
利息の支払額	△76,108	△71,179
法人税等の支払額	△12,773	△11,593
補償金の受取額	34,000	—
助成金の受取額	—	39,000
保険金の受取額	19,817	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,232,454	△68,123
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△379,434	△284,047
有形固定資産の売却による収入	14,975	20,072
無形固定資産の取得による支出	△158,008	△128,712
事業譲渡による収入	—	875,300
その他	63,479	78,170
投資活動によるキャッシュ・フロー	△458,986	560,784
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△530,000
長期借入れによる収入	2,000,000	2,200,000
長期借入金の返済による支出	△1,711,635	△1,523,645
自己株式の取得による支出	△38,870	△146,300
配当金の支払額	△89,213	△88,732
リース債務の返済による支出	△496,293	△347,896
セール・アンド・リースバックによる収入	51,255	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△284,757	△436,574
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	488,710	56,086
現金及び現金同等物の期首残高	1,153,745	1,642,456
現金及び現金同等物の期末残高	1,642,456	1,698,542

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1. 連結の範囲に関する事項

連結子会社の数 2社

連結子会社の名称

主要な連結子会社名は、「1. 経営成績等の概況 (6) 企業集団の状況」に記載しているため、省略しております。

2. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の事業年度の末日は、連結決算日と一致しております。

3. 会計方針に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券

その他有価証券

イ. 時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）によっております。

ロ. 時価のないもの

移動平均法による原価法によっております。

② デリバティブ

原則として時価法によっております。

③ たな卸資産

イ. 商品

主として移動平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）によっております。

また、一部の商品は個別法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）によっております。

ロ. 製品

総平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）によっております。

ハ. 原材料

移動平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）によっております。

ニ. 貯蔵品

最終仕入原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）によっております。

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除く）

定額法によっております。

主な耐用年数は次のとおりであります。

建物及び構築物 10～47年

機械装置及び運搬具 5～6年

② 無形固定資産（リース資産を除く）

自社利用ソフトウェア

見込利用可能期間（3～5年）で償却しております。

③ リース資産（借手）

イ. 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用しております。

ロ. 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース契約期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

(3) 重要な引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については債権の回収可能性を個別に検討して算出した貸倒見積額を計上しております。

② 賞与引当金

従業員の賞与の支給に備えるため、将来の支給見込額のうち当連結会計年度の負担額を計上しております。

(4) 退職給付に係る会計処理の方法

一部の連結子会社は、退職給付に係る負債及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

(5) 重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算の基準

外貨建金銭債権債務は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

(6) 重要なヘッジ会計の方法

① ヘッジ会計の方法

繰延ヘッジ処理によっております。

なお、金利スワップ取引のうち、「金利スワップの特例処理」（金融商品に関する会計基準注解（注14））の対象となる取引については、当該特例処理を適用しております。

② ヘッジ手段とヘッジ対象

イ. ヘッジ手段

金利スワップ取引

ロ. ヘッジ対象

将来の相場（金利）の変動により将来キャッシュ・フローが変動するリスクのある借入金

③ ヘッジ方針

金利リスクのある借入金については、金利スワップ取引により金利リスクをヘッジしております。

④ ヘッジ有効性評価の方法

ヘッジ対象及びヘッジ手段について、それぞれのキャッシュ・フロー総額の変動額を比較し、両者の変動額を基礎にして検証しておりますが、ヘッジ対象及びヘッジ手段について元本、利率、期間等の重要な条件が同一である場合には、本検証を省略することとしております。

(7) のれんの償却方法及び償却期間

のれんは、均等償却（5年）又は一括償却しております。

(8) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。

(9) その他の連結財務諸表作成のための重要な事項

消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業外収益」の「仕入割引」及び「受取手数料」は金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度においては「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」に表示していた「仕入割引」2,598千円、「受取手数料」2,936千円は、「その他」として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、持株会社である当社がグループ全体の戦略的マネジメント機能を担い、事業会社である連結子会社が製品・サービス別の事業活動を展開しております。したがって、当社グループの事業単位は、製品・サービス別のセグメントから構成されており、主要事業として「プリント事業」、「モバイル事業」の2つを報告セグメントとしております。

「プリント事業」は、フォトショップのフランチャイズの展開及びフォトショップの経営（一部の店舗においてプリントサービスとスマートフォン等携帯端末を取り扱う複合ショップを展開）並びにWebサイトを運営し、主にデジタルプリントサービス及び写真関連商材等を販売しております。「モバイル事業」は、携帯ショップを運営し、携帯端末等を販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益であり、その会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

なお、当社グループは、事業セグメントへの負債の配分は行っておりません。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	プリント事業	モバイル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,800,223	16,254,591	23,054,815	—	23,054,815
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,800,223	16,254,591	23,054,815	—	23,054,815
セグメント利益又は損失 (△)	△385,538	671,346	285,807	△16,905	268,901
セグメント資産	7,472,293	4,539,845	12,012,139	530,474	12,542,614
その他の項目					
減価償却費	648,223	85,791	734,014	6,536	740,551
のれん償却額	—	48,965	48,965	—	48,965
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	284,491	313,818	598,309	25,788	624,098

(注) 1. 調整額は以下の通りであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額16,905千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△321,465千円及び当社とセグメントとの内部取引消去304,560千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額530,474千円には、セグメント間取引消去額△512,924千円、各報告セグメントに配分していない全社資産8,190,929千円及び当社とセグメントとの内部取引消去△7,147,530千円が含まれております。
- (3) 減価償却費の調整額6,536千円は、全社資産に係わる減価償却費であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額25,788千円は、全社資産に係わる設備投資額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	プリント事業	モバイル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,091,054	15,583,794	20,674,849	—	20,674,849
セグメント間の内部売上高又は振替高					
計	5,091,054	15,583,794	20,674,849	—	20,674,849
セグメント利益又は損失 (△)	△682,391	1,018,744	336,353	△30,840	305,512
セグメント資産	6,641,811	4,763,873	11,405,684	834,227	12,239,912
その他の項目					
減価償却費	467,872	96,338	564,210	6,353	570,564
のれん償却額	—	31,040	31,040	—	31,040
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	219,693	147,994	367,688	936	368,625

(注) 1. 調整額は以下の通りであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額30,840千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△335,400千円及び当社とセグメントとの内部取引消去304,560千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額834,227千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産8,701,283千円及び当社とセグメントとの内部取引消去△7,867,055千円が含まれております。
 - (3) 減価償却費の調整額6,533千円は、全社資産に係わる減価償却費であります。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額936千円は、全社資産に係わる設備投資額であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	181円72銭	227円37銭
1株当たり当期純利益	9円81銭	57円90銭

(注) 1. 前連結会計年度及び当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	125,764	732,987
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	125,764	732,987
普通株式の期中平均株式数(株)	12,813,874	12,659,831

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	326,869	642,221
売掛金	27,863	27,863
前払費用	4,707	3,819
未収入金	225,267	224,270
その他	2,923	847
流動資産合計	587,631	899,022
固定資産		
有形固定資産		
建物	23,091	12,070
車両運搬具	3,685	2,934
工具、器具及び備品	15,981	13,751
土地	40,200	40,200
有形固定資産合計	82,958	68,956
無形固定資産		
ソフトウェア	2,255	1,361
その他	3,111	3,111
無形固定資産合計	5,366	4,472
投資その他の資産		
投資有価証券	85,239	95,389
関係会社長期貸付金	9,237,679	8,812,679
敷金及び保証金	36,697	30,620
繰延税金資産	25,879	26,030
その他	38,289	40,245
貸倒引当金	△1,836,844	△1,197,510
投資その他の資産合計	7,586,941	7,807,454
固定資産合計	7,675,265	7,880,883
資産合計	8,262,897	8,779,905

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	1,850,000	1,320,000
1年内返済予定の長期借入金	1,340,403	1,372,361
未払金	25,555	27,160
未払費用	1,130	1,015
未払法人税等	1,210	1,210
預り金	22,692	17,621
前受収益	245	-
賞与引当金	2,317	2,889
その他	523	347
流動負債合計	3,244,077	2,742,606
固定負債		
長期借入金	2,616,479	3,144,117
資産除去債務	15,660	8,969
固定負債合計	2,632,139	3,153,086
負債合計	5,876,217	5,895,693
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金		
資本準備金	265,346	265,346
その他資本剰余金	963,149	963,149
資本剰余金合計	1,228,496	1,228,496
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,406,987	2,049,037
利益剰余金合計	1,406,987	2,049,037
自己株式	△361,379	△507,679
株主資本合計	2,374,104	2,869,854
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12,575	14,357
評価・換算差額等合計	12,575	14,357
純資産合計	2,386,680	2,884,212
負債純資産合計	8,262,897	8,779,905

(2) 損益計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	304,581	304,580
売上総利益	304,581	304,580
販売費及び一般管理費	352,471	344,681
営業損失(△)	△47,890	△40,101
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	179,931	183,857
貸倒引当金戻入額	34,940	639,334
その他	27,807	19,894
営業外収益合計	242,678	843,085
営業外費用		
支払利息	48,377	53,560
その他	6,620	9,023
営業外費用合計	54,998	62,583
経常利益	139,790	740,400
特別損失		
減損損失	-	9,407
特別損失合計	-	9,407
税引前当期純利益	139,790	730,992
法人税、住民税及び事業税	1,210	1,210
法人税等調整額	17,035	△1,094
法人税等合計	18,245	115
当期純利益	121,545	730,876

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	100,000	265,346	963,149	1,228,496	1,375,179	1,375,179	△322,509	2,381,166
当期変動額								
剰余金の配当					△89,736	△89,736		△89,736
当期純利益					121,545	121,545		121,545
自己株式の取得							△38,870	△38,870
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	31,808	31,808	△38,870	△7,061
当期末残高	100,000	265,346	963,149	1,228,496	1,406,987	1,406,987	△361,379	2,374,104

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
当期首残高	1,299	1,299	—	2,382,466
当期変動額				
剰余金の配当				△89,736
当期純利益				121,545
自己株式の取得				△38,870
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	11,275	11,275		11,275
当期変動額合計	11,275	11,275	—	4,213
当期末残高	12,575	12,575	—	2,386,680

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							株主資本合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	100,000	265,346	963,149	1,228,496	1,406,987	1,406,987	△361,379	2,374,104
当期変動額								
剰余金の配当					△88,826	△88,826		△88,826
当期純利益					730,876	730,876		730,876
自己株式の取得							△146,300	△146,300
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計					642,050	642,050	△146,300	495,750
当期末残高	100,000	265,346	963,149	1,228,496	2,049,037	2,049,037	△507,679	2,869,854

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
当期首残高	12,575	12,575	—	2,386,680
当期変動額				
剰余金の配当				△88,826
当期純利益				730,876
自己株式の取得				△146,300
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,782	1,782		1,782
当期変動額合計	1,782	1,782		497,532
当期末残高	14,357	14,357		2,884,212